工場又は事 出光興産株式会社 業場の名称 千葉製油所

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) 基準年度における処理回収率等

(1) 卒年十度における	0 22-2	- 1-1	N-		_				_
	基準年度								
		3	平月	रे 1	24	手度	F		
使 用 量 (kg/年度) (1億キログラムを超え る場合は、下段に指数表示 で記載すること。)	1		2	×	1	0	1	0	
排出等の量 (kg/年度)		6	2	0	0	0	0	•	
処理回収率 (%)		\	\		1	0	0		

基準年度までに、浮屋	
ク又は内部浮屋根式タ	ンクに改
造した固定屋根式タン	クの基数
(基)	
	3

備考

- 1 この項の提出は任意であること。
- 2 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 3 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 4 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。
 - {(使用量-排出等の量)/使用量}×100

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
4 1	5 2								

の欄に発性がに配入すること。
(タンンクローリー充填・出荷施設のVOC回収実績について)
幣所ではVOC回収に積極的に取組んでおり、タンクローリー充填・出荷施設
のVOC回収設備を平成2年3月に設置しました。当該設備は、VOC回収率
90%以上の実績を誇り現在も順調に稼動しており、VOC排出量削減に大きく
寄与しています。

工場又は事	ライオン株式会社
業場の名称	千葉工場

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策 (1) 基準年度における処理回収率等

型学年度における処理凹収率等									
	基準年度								
		-	平月	È 1	24	年月	Ę		
使 用 量 (kg/年度) (1億キログラムを超え	8	0	0	0	0	0	0	•	
(「億年ログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	×	1	0			
排出等の量 (kg/年度)		3	2	0	0	0	0		
処理回収率 (%)		\				9	6	•	

基準年度までに、浮屋根 ク又は内部浮屋根式タンク 造した固定屋根式タンク (基)	クに改
	0

備考

- この項の提出は任意であること。 1
- 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 3 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 4 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。
 - {(使用量-排出等の量)/使用量}×100

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該 当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての 対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
5 3	9 9								

対策2について			
・界面活性剤中の組成改善に。	よる、VOC発生	量の削減。	-
	×		
3	9		
. •			
			*

工場又は事星光 P M C 株式会社業場の名称千葉工場

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) 基準年度における処理回収率等

(1) 基準年度における処理団収率等									
	基準年度								
	平成14年度								
使用量 (kg/年度)	5 1 0 0 0 0 0								
(1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)	× 1 0								
排出等の量 (kg/年度)	8 7 0								
処理回収率 (%)	1 0 0								

基準年度までに、浮屋根	
ク又は内部浮屋根式タン2 造した固定屋根式タンク	
(基)	- AL 3/
	1 1

備考

- 1 この項の提出は任意であること。
- 2 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 3 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 4 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。
 - {(使用量-排出等の量)/使用量}×100

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
5 2				1					

工場又は事	DIC株式会社
業場の名称	千葉工場

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) 基準年度における処理回収率等

(1) 基準年度における処理団状学寺								
	基準年度							
	平成12年度							
使 用 量 (kg/年度) (1億キログラムを超え								
(1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)	$2.6 \times 10 8$							
排出等の量 (kg/年度)	5 6 0 0 0 .							
処理回収率 (%)	1 0 0 .							

基準年度までに、	
ク又は内部浮屋材	艮式タンクに改
造した固定屋根式	式タンクの基数
(基)	

備考

- 1 この項の提出は任意であること。
- 2 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 3 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 4 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。

{(使用量-排出等の量)/使用量}×100

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 1	2 1	2 3	3 1	4 1	5 1	5 2	5 4	5 6	9 1

工場又は事 三井化学株式会社 業場の名称 市原工場

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策 (1) 基準年度における処理回収率等

(1) 至十十次(2017)	 -	- Person			_			_	A COUNTY
			基	连準	年	度			
	平	成		12	年	度			
使 用 量 (kg/年度) (1億キログラムを超え る場合は、下段に指数表示 で記載すること。)	5	•	3	×	. 1	0	9	٠	
排出等の量 (kg/年度)	 3	2	0	0	0	0	0		
処理回収率 (%)	\				1	0	0		

基準年度までに、浮屋村 ク又は内部浮屋根式タン 造した固定屋根式タンク (基)	ノクに改
	0

備考

- この項の提出は任意であること。
- 2 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 3 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 4 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。 {(使用量-排出等の量)/使用量}×100
- (2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該 当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての 対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 3	3 1	3 4	5 1	5 2	5 3	5 4			

	איני ליינות איני		M			4000		
						200		
						- 18		
			*					
							20000	
*		. 4						
		M 35						
	V							
				08				
						117		
	847					2.		
*								
					3.40			
E-			600					

三井造船株式会社 工場又は事 業場の名称 千葉事業所

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策(1) 基準年度における処理回収率等

())を学生反における処理回収学等									
			基	ま 準	年	度			
		_	平瓦	文1	3 4	年月	F		
使 用 量 (kg/年度)		4	1	0	0	0	0		
(1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)			1	×	1	0		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	\
排出等の量 (kg/年度)	1	3	9	0	0	0	0		
処理回収率 (%)			\				4		9

基準年度までに、浮屋村 ク又は内部浮屋根式タン 造した固定屋根式タンク (基)	ノクに改

備考

- 1 この項の提出は任意であること。
- 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 3 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 4 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。 {(使用量-排出等の量)/使用量}×100

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該 当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての 対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 2	5 4								1 1 1 1

7		

	<u> </u>	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		

出光興産株式会社 工場又は事 千葉工場 業場の名称

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策 (1) 基準年度における処理回収率等

_ (1) 基準中反にのける	O C T D N T T						
	基準年度						
	平成12年度						
使 用 量 (kg/年度) (1億キログラムを超え る場合は、下段に指数表示 で記載すること。)	$\sqrt{3}$ 6×10 9						
排出等の量 (kg/年度)	8 2 0 0 0 0						
処理回収率 (%)	1 0 0						

基準年度までに、浮屋 ク又は内部浮屋根式タ 造した固定屋根式タン (基)	ンクに改
	2

備考

- この項の提出は任意であること。
- 2 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 3 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 4 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。
 - {(使用量-排出等の量)/使用量}×100

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該 当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての 対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
4 1	5 1								

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次

の懶に具体的に記入すること。	